

留学を終えて

聖マリア女学院高等学校 森井 瑠菜（オーストラリア）

オーストラリア留学を通して、語学力を伸ばし人間関係を豊かにする意義や、笑顔で接することの大切さなど様々なことを学びました。

日本とは異なり、自分の意見を簡潔にしっかり伝えることがとても重要だと感じました。日本では自分の思ったことをはっきりと言ってしまうと失礼ではないかと人の顔色ばかりうかがってしまうことが多かったです。しかし、同様な振る舞いをオーストラリアで行うと、かえって人との間に距離ができてしまいます。自分の意見をしっかり言える環境やそういった意識を持つことはとても大切だと学びました。



日本で主に力を入れて勉強してきた実用英語技能検定がオーストラリアでは通用しなかったことが衝撃でした。そのかわりに Duolingo テストに合格しなければメインストリームにいけず、また学校をかわらないといけないというプレッシャーから眠れない日々が続きました。日本の先生とオンライン授業で猛勉強をしました。慣れない環境での勉強や不安な日々は本当に辛かったです。最終的にテストに合格し、メインストリームに上がることができると決まったときは、今までにない喜びでした。その経験が自信につながり、自分を成長させることができたと思います。メインストリームでの授業は日本のようにホームルームがなく、選択した授業ごとにたくさんの友達ができました。体験したり、実際に体を動かしたりすることができる授業が多かったです。

私は、語学力はもちろんのこと、それに加えて水泳を続けたい思いが強く、水泳ができる学校を選びました。実際に入学後にクラブ活動に参加してみると、日本ではあまりなかった朝練習や夜練習があり、また1日に複数回活動する也多かったです。最初は学業と水泳の両立に苦戦し学業を優先していたため、満足にはトレーニングに参加することができませんでした。しかし、生活が慣れるにつれてクラブ活動に足を運ぶことができて、自分の成長を感じることができました。

留学期間中、様々な面で協力し支えてくださったホストファミリーには感謝の気持ちしかありません。とても素敵なファミリーにめぐり会え、充実した留学生活を送ることができました。この留学経験で出会い、関わっていただいた全ての方々に感謝しています。

